

【様式1-1】

南城市 長寿命化修繕計画

H30.12月版

南城市 都市建設課

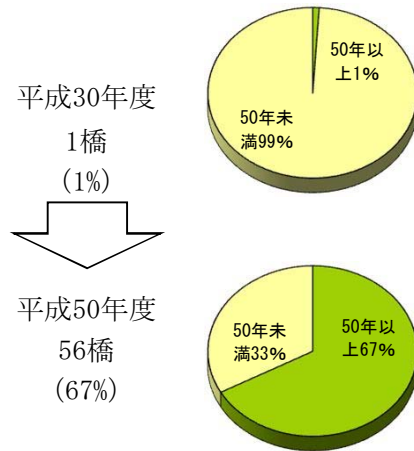
1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

本市が管理する橋梁は、平成30年度現在で83橋架設されている。

このうち、建設後50年を経過する橋梁は、全体の1%を占めており、20年後の平成50年には、67%程度に増加する。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大することが懸念される。



2) 目的

このような背景から、市の管理する83橋について、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となる。

コスト縮減のためには、従来の対症療法型から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う” 予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要がある。

そこで本市では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、管理する橋梁全てを対象とした橋梁長寿命化修繕計画を策定する。

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	一般国道	主要地方道	市道	合計
全管理橋梁数	0	0	83	83
うち計画の対象橋梁数	0	0	83	83
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0
うち平成30年度計画策定橋梁数	0	0	83	83

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的方針

定期点検（5年に1回の頻度で実施する）や日常的な維持管理によって得られた結果に基づき、橋梁の損傷を早期に発見するとともに健全度を把握する。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

パトロール車により走行面の変状について点検を行う。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

市が管理する橋梁の中で、架設後30年以上経過した橋梁は全体の約67%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想される。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年間とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減する。

長寿命化を計画的に進めるため、計画期間は10年を1サイクルと設定する。また、5年に1回の定期点検結果を考慮して、適宜、管理方針や実施体制等の見直しを行い、効率的に橋梁を維持していく。

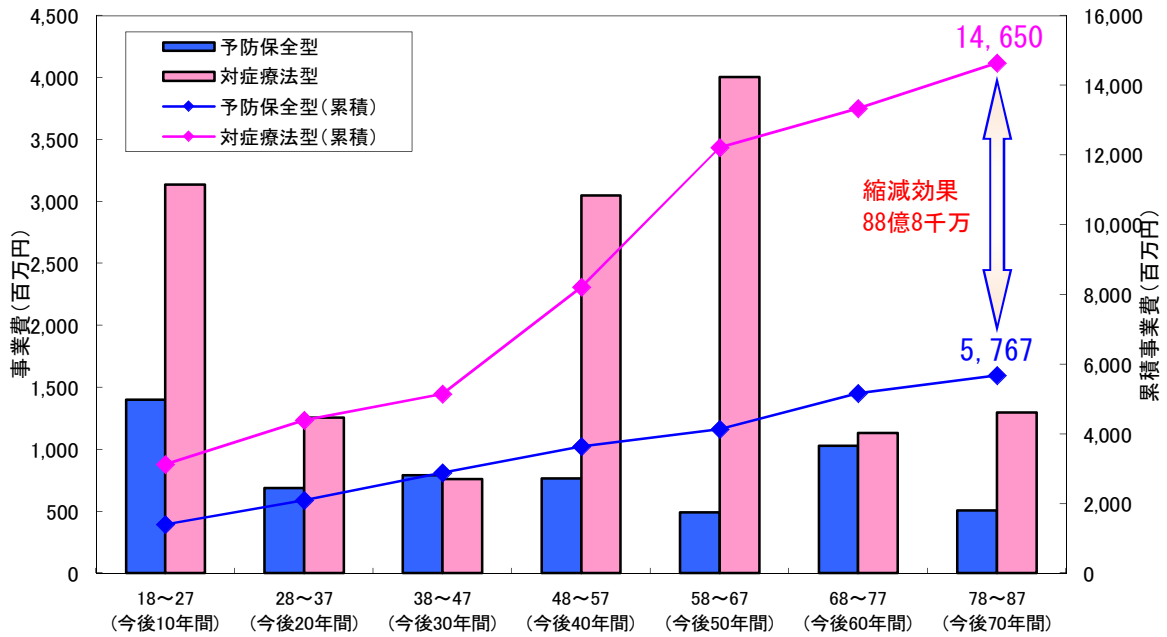
5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

様式1-2による

6. 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画を策定する83橋について、今後70年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が146億5千万円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が57億7千万円となり、コスト削減効果は88億8千万円となる。

また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保される。



【様式1-2】

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

(金額：百万円)

橋梁番号	橋梁名	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	対策の内容・時期																				
							H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39											
1	1号函渠1	馬天小谷線	2.4	1994	24	H28						定期点検	0.30									定期点検	0.30				
2	2号函渠1	馬天小谷線	2.6	1994	24	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
3	3号函渠	馬天小谷線	2.5	1994	24	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
4	1号函渠2	馬天浜端線	2.4	1982	36	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
5	1号函渠3	新里佐敷線	3	1986	32	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
6	1号函渠4	手登根伊原線	3.4	1982	36	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
7	1号函渠5	手登根富祖崎線	2.6	1982	36	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
8	上之橋	手登根富祖崎線	10.6	1977	41	H28						定期点検	0.30					設計費	0.34	耐震補強	1.12		定期点検	0.30			
9	1号函渠6	手登根屋比久線	4.1	1982	36	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
10	1号函渠7	伊原屋比久線	2.85	1982	36	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
11	1号函渠8	佐敷仲伊保線	6.1	1995	23	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
12	浜崎橋	佐敷仲伊保線	14	1993	25	H29						設計費	5.02	定期点検・補修・耐震補強	17.02										定期点検	0.30	
13	2号函渠	佐敷仲伊保線	4	1995	23	H29							定期点検	0.30											定期点検	0.30	
14	月代橋	佐敷月代宮線	3.94	2015	3	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
15	1号函渠9	田原線	2.6	1994	24	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
16	1号函渠10	崩利原線	4.6	1982	36	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
17	1号函渠11	運座桃原線	4.6	1982	36	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
18	1号橋1	川田線	2	1982	36	H28						定期点検	0.30						設計費	0.28	耐震補強	0.92		定期点検	0.30		
19	1号函渠12	落水線	2.86	1982	36	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
20	1号函渠13	小谷前原線	2.5	1982	36	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
21	1号橋2	崎原線	2.4	1982	36	H28								設計費	0.83	定期点検・補修・耐震補強	2.77						定期点検	0.30			
22	新開橋	新開中央線	7.95	2017	0							初回点検	0.60											定期点検	0.60		
23	1号函渠14	新開13号線	2.4	1985	33	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
24	第二新開橋	運座新開線	30.4	1973	45	H28						設計費	136.80	更新	456.00	初回点検	0.30							定期点検	0.30		
25	1号橋3	勢理客樋川線	2.5	1985	33	H28						定期点検	0.30	設計費	0.41	耐震補強	1.35						定期点検	0.30			
26	2号橋	勢理客樋川線	2.8	1985	33	H28						定期点検	0.30	設計費	0.35	耐震補強	1.17						定期点検	0.30			
27	1号橋4	津波古3号線	2.3	1985	33	H28						定期点検	0.30						設計費	0.45	耐震補強	1.51		定期点検	0.30		
28	1号函渠15	仲伊保一花線	2.6	1985	33	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
29	1号橋5	馬天兼久島之前線	4.45	1982	36	H28						定期点検	0.30						設計費	0.36	耐震補強	1.21		定期点検	0.30		
30	1号函渠16	佐敷海岸線	3.8	1994	24	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
31	1号橋6	津波古35号線	4.3	2013	5	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
32	1号函渠17	津波古35号線	2.4	1987	31	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
33	1号函渠18	仲伊保富祖崎線	2.44	2006	12	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
34	1号函渠19	新里4号線	4.6	2002	16	H29								定期点検	0.30										定期点検	0.30	
35	1号函渠20	中山～新原線	2.5	1982	36	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
36	1号函渠21	志堅原～玉城線	2.6	1994	24	H29								定期点検	0.30										定期点検	0.30	
37	2号函渠2	志堅原～玉城線	2.6	1994	24	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
38	奥武橋	伊茶垂～奥武線	93.1	2010	8	H28						定期点検	0.90										定期点検	0.90			
39	1号函渠22	船越～下川田線	3.1	1982	36	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
40	1号函渠23	下川田原～石川原線	3.35	1994	24	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
41	赤増橋	船越～愛知線	9.4	1982	36	H28						定期点検	0.30										定期点検	0.30			
42	志堅謝橋	愛地～船越線	14.8	1980	38	H28						定期点検	0.30						設計費	0.36	耐震補強	1.20		定期点検	0.30		

7. 中期(5年～10年)修繕計画

1) 修繕優先度の設定方針

長寿命化策定時における事業実施年度を計画する際、同一年度内に複数橋梁の対策時期が重なる場合がある。予算制約の関係上、対策費用が当該年度予算を超過する場合には、橋梁の修繕優先度を設定することで、対策実施時期を調整する必要がある。

橋梁の修繕優先度は、以下の4つの指標から評価した。

①5年以内の補修が必要とされる橋梁(健全度評価点Ⅲ判定の橋梁)【評価点：60点満点】

評価	点数	内容
×	【60点】	主要部材に複数のⅢ判定の損傷があり、かつ二次部材にもⅢ判定の損傷がある。
△	【50点】	主要部材に複数のⅢ判定の損傷がある。
○	【40点】	主要部材に単体のⅢ判定の損傷がある。

②耐震補強の対応が必要な橋梁【評価点：20点満点】

評価	点数	内容
×	【20点】	耐震補強が必要であり、落橋防止システム等の設置について対策が必要な橋梁。

③道路構造令等への適応が必要な橋梁【評価点：10点満点】

評価	点数	内容
×	【10点】	道路幅員が4m未満の橋梁。また、防護柵が設置されていないか損傷により機能していない。
△	【8点】	設置された防護柵が、現行の設置基準に満たない(高さや強度不足)。

④交差条件、緊急輸送路に指定されている橋梁【評価点：10点満点】

評価	点数	内容
×	【10点】	橋梁の桁下環境が道路等、第三者被害に繋がる可能性がある橋梁(跨道橋)。または緊急輸送道路に架かる橋梁。
△	【8点】	緊急輸送道路上の橋梁。また、重要施設アクセス路上の橋梁。

次頁に上記の内容に基づいて整理した中期修繕計画の対象橋梁優先一覧表を示す。

2) 中期(5年～10年)修繕計画検討結果

修繕優先度の設定方針に従い、5年以内に補修が必要な橋梁(健全度評価Ⅲ判定)、耐震補強の必要性、道路構造令等の適応、交差条件について整理した結果を以下の表に示す。

中期(5年～10年)修繕計画は、健全度評価Ⅲの橋梁、耐震補強または防護柵の更新が必要な橋梁を対象とし、表中の優先順位に基づき策定した。

中期修繕計画対象一覧(1/3)

橋梁番号	優先順位	路線番号	橋梁名 函渠名	種別	路線名	所在地	構造形式	架設年次 (西暦)	供用年数	最新点検年次	幅員[m]	橋長[m] (内空距離)	径間数	①健全度評価			②耐震補強対応の必要性				③道路構造令等の適応判定 道路幅員4m未満・防護柵設置状況				④交差条件 緊急輸送道路		合計点
														判定区分	評価	評価点	落橋防止システム設置判定	上部工の回転	評価	評価点	道路幅員	防護柵設置状況	評価	評価点	評価	評価点	
24	1	73号線	第二新開橋	2級	運座新開線	南城市佐敷新里	鋼単純鉄桁橋	昭和48年11月(1973)	43年	H28	10.60	30.40	1	Ⅲ	×	60	桁かかり長不足・落橋防止設置不要	しない	×	20	7.00	健全であり基準を満たしている	◎	0	△	8	88
46	2	140号線	堀川橋	その他	堀川～長毛線	南城市玉城堀川	RC4径間連続ラーメンT桁橋	昭和38年4月(1963)	53年	H28	6.60	47.00	4	Ⅲ	△	50	桁かかり長不足・落橋防止設置不要	しない	×	20	6.00	防護柵にひびわれ・基準を満たしていない	△	8	△	8	86
47	3	140号線	堀川橋側道橋※1	その他	堀川～長毛線	南城市玉城堀川	鋼2径間単純鉄桁橋	昭和56年11月(1981)	35年	H28	2.30	48.90	2	Ⅱ-Ⅲ	○	40	桁かかり長不足・落橋防止設置不要	しない	×	20	1.5※2	転落防止柵の一部が破断	△	8	△	8	76
21	4	43号線	1号橋2	その他	崎原線	南城市佐敷津波古	RC単純床版橋	S57.10.26	34年	H28	4.82	2.40	1	Ⅲ	○	40	桁かかり長不足・落橋防止設置不要	しない	×	20	4.34	片側に転落止柵が設置されていない	×	10	-	-	70
12	5	19号線	浜崎橋	1級	佐敷仲伊保線	南城市佐敷佐敷	プレテンション方式PC単純中空床版橋	平成5年7月(1993)	23年	H29	11.00	14.00	1	Ⅲ	○	40	桁かかり長満足	しない	-	-	7.00	健全であり基準を満たしている	◎	0	-	-	40
26	6	111号線	2号橋	その他	勢理客樋川線	南城市佐敷新里	RC単純床版橋	S60.3.30	31年	H28	4.20	2.80	1	Ⅱ	-	0	桁かかり長不足・落橋防止設置不要	しない	×	20	3.88	防護柵の設置が必要	×	10	△	8	38
79	7	180号線	赤田橋	その他	稲嶺土改 3号線	南城市大里稲嶺	プレテンション方式PC単純中空床版橋	平成7年1月(1995)	22年	H29	6.20	15.00	1	Ⅰ	-	0	桁かかり長不足・落橋防止設置不要	しない	×	20	5.00	転落防止柵の基準を満たしていない	△	8	△	8	36
45	8	73号線	石川橋	その他	前川～石川線	南城市玉城前川	RC単純T桁橋	昭和56年12月(1981)	35年	H28	6.20	16.20	1	Ⅱ	-	0	桁かかり長不足・落橋防止設置不要	しない	×	20	5.00	転落防止柵の基準を満たしていない	△	8	△	8	36
78	9	178号線	水川橋	その他	稲嶺土改 1号線	南城市大里稲嶺	RC単純T桁橋	昭和55年3月(1980)	36年	H28	5.63	17.25	1	Ⅱ	-	0	桁かかり長満足・横変位拘束構造必要	する	×	20	5.03	防護柵に損傷・基準を満たしていない	×	10	-	-	30
25	10	111号線	1号橋3	その他	勢理客樋川線	南城市佐敷新里	プレキャスト単純床版橋	S60.3.30	31年	H28	7.85	2.50	1	Ⅰ	-	0	桁かかり長不足・落橋防止設置不要	しない	×	20	7.60	健全であり基準を満たしている	◎	0	△	8	28
29	11	164号線	1号橋5	2級	馬天兼久島之前線	南城市佐敷津波古	RC単純床版橋	S57.3.31	34年	H28	7.90	4.45	1	Ⅱ	-	0	桁かかり長不足・落橋防止設置不要	しない	×	20	7.50	転落防止柵の設置が必要	△	8	-	-	28
44	12	69号線	うされ一橋	1級	前川～堀川線	南城市玉城堀川	ポストテンション方式PC単純T桁橋	昭和62年3月(1987)	29年	H28	11.05	36.80	1	Ⅱ	-	0	桁かかり長満足・横変位拘束構造必要	する	×	20	7.55	健全であり基準を満たしている	◎	0	△	8	28
81	13	207号線	平川橋	その他	高宮城土改 9号線	南城市大里稲嶺	プレテンション方式PC単純中空床版橋	平成7年1月(1995)	22年	H29	6.20	15.10	1	Ⅰ	-	0	桁かかり長不足・落橋防止設置不要	しない	×	20	5.00	健全であり基準を満たしている	◎	0	△	8	28
43	14	66号線	若久橋	その他	若久原～船越線	南城市玉城愛地	RC単純T桁橋	昭和63年1月(1988)	29年	H29	6.20	14.80	1	Ⅱ	-	0	桁かかり長不足・落橋防止設置不要	しない	×	20	5.00	転落防止柵の基準を満たしていない	△	8	-	-	28
42	15	64号線	志堅謝橋	その他	愛地～船越線	南城市玉城船越	RC単純T桁橋	昭和55年12月(1980)	36年	H28	6.20	14.80	1	Ⅱ	-	0	桁かかり長不足・落橋防止設置不要	しない	×	20	5.00	転落防止柵の基準を満たしていない	△	8	-	-	28
8	16	13号線	上之橋	2級	手登根富祖崎線	南城市佐敷手登根	RC単純T桁橋	昭和52年3月(1977)	39年	H28	5.30	10.60	1	Ⅱ	-	0	桁かかり長不足・落橋防止設置不要	しない	×	20	4.50	転落防止柵の基準を満たしていない	△	8	-	-	28
18	17	35号線	1号橋1	その他	川田線	南城市佐敷手登根	RC単純床版橋	S57.10.26	34年	H28	3.00	2.00	1	Ⅰ	-	0	桁かかり長不足・落橋防止設置不要	しない	×	20	3.0※3	防護柵の設置を省略できる※4	◎	0	-	-	20
27	18	116号線	1号橋4	その他	津波古3号線	南城市佐敷津波古	RC単純床版橋	S60.3.30	31年	H28	7.75	2.30	1	Ⅱ	-	0	桁かかり長不足・落橋防止設置不要	しない	×	20	7.35※4	健全であり基準を満たしている	◎	0	-	-	20
38	19	22号線	奥武橋	1級	伊茶垂～奥武線	南城市玉城奥武	ポストテンション方式PC3径間連結T桁橋	平成22年12月(2010)	6年	H28	11.30	93.10	3	Ⅰ	-	0	落橋防止あり	-	-	-	6.50	アンカーボルト腐食により断面減少	△	8	×	10	18
65	20	33号線	1号函渠37	その他	大城～親慶原線	南城市大里大城	RCボックスカルバート	S57.10.7	34年	H28	5.60	(5.00)	1	Ⅰ	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.00	防護柵の基部が破断	×	10	△	8	18
70	21	74号線	1号函渠39	その他	平田線	南城市大里大城	RCボックスカルバート	S57.10.7	34年	H28	5.60	5.60(5.00)	1	Ⅰ	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.00	転落防止柵の欠損	×	10	△	8	18
77	22	177号線	切合橋	その他	高宮城～保地線	南城市大里高平	RC単純中空床版橋	昭和62年3月(1987)	29年	H29	4.70	12.80	1	Ⅰ	-	0	桁かかり長満足	しない	-	-	3.50	転落防止柵の基準を満たしていない	×	10	△	8	18
16	23	30号線	1号函渠10	2級	崩利原線	南城市佐敷新里	RCボックスカルバート	S57.10.26	34年	H28	5.60	4.60(4.00)	1	Ⅰ	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.00	転落防止柵の設置が必要	△	8	△	8	16
76	24	117号線	1号函渠44	その他	山畑線	南城市大里仲間	RCボックスカルバート	S57.10.7	34年	H28	5.80	4.10(3.50)	1	Ⅰ	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.00	転落防止柵の設置が必要	△	8	△	8	16
83	25	218号線	高平橋	その他	仲程～高宮城線	南城市大里高平	プレテンション方式PC単純中空床版橋	平成11年3月(1999)	17年	H29	13.80	16.50	1	Ⅰ	-	0	桁かかり長満足	しない	-	-	7.00	横断防止柵の一部が破断	△	8	△	8	16
48	26	147号線	愛知橋	その他	石川原～大城線	南城市玉城前川	RCボックスカルバート	H6.5.11	22年	H29	6.65	2.85(2.25)	1	Ⅰ	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	6.05	防護柵の一部が破断	△	8	△	8	16
9	27	14号線	1号函渠6	その他	手登根屋比久線	南城市佐敷手登根	RCボックスカルバート	S57.10.26	34年	H28	4.50	4.10(3.50)	1	Ⅱ	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	4.00	転落防止柵の設置が必要	△	8	△	8	16
64	28	32号線	大城橋	1級	大城～船越線	南城市大里大城	RC単純T桁橋	昭和58年2月(1983)	33年	H28	6.20	10.95	1	Ⅱ	-	0	桁かかり長満足	しない	-	-	5.00	転落防止柵の基準を満たしていない	△	8	△	8	16

●修繕優先度の評価基準

①5年以内の補修が必要とされる橋梁(健全度評価点Ⅲ判定の橋梁)【評価点：60点満点】			③道路構造令等への適応が必要な橋梁【評価点：10点満点】		
評価	点数	内容	評価	点数	内容
×	60点	主要部材(複数)および二次部材にⅢ判定の損傷がある	×	10点	道路幅員4m未満、防護柵が未設置または損傷等で機能していない
△	50点	主要部材(複数)にⅢ判定の損傷がある	△	8点	防護柵が現行の設置基準に満たない(高さや強度不足)
○	40点	主要部材(単体)にⅢ判定の損傷がある	④交差条件、緊急輸送路に指定されている橋梁【評価点：10点満点】		
評価	点数	内容	評価	点数	内容
②耐震補強の対応が必要な橋梁【評価点：20点満点】			×	10点	跨道橋(第三者被害の可能性)または緊急輸送道路に架かる橋梁
×	20点	耐震補強が必要(桁かかり長確保、落橋防止・横変位拘束構造の設置)	△	8点	緊急輸送道路または重要施設アクセス路を跨ぐ橋梁

凡例

	修繕優先の指標に該当する項目
	H23年以降に補修・架け替えを行い損傷度が下がった橋梁
	損傷状況を確認し、計画に健全度をⅡよりⅢに引き上げた橋梁

※1 H28の定期点検で判定区分Cであり、また堀川橋に隣接していることもあって、当該橋梁の補修は堀川橋と同時に実施することが望ましいため、総合評価をⅡよりⅢへ変更した。

※2 歩道橋。

※3 道路幅員4m未満の可能性あり。

※4 他の橋梁と接続しており、道路幅員4m以上を満たしている。

中期修繕計画対象一覧(2/3)

橋梁番号	優先順位	路線番号	橋梁名 函渠名	種別	路線名	所在地	構造形式	架設年次 (西暦)	供用年数	最新点 検年次	幅員[m]	橋長[m] (内空距離)	径間数	①健全度評価			②耐震補強対応の必要性				③道路構造令等の適応判定 道路幅員4m未満・防護柵設置状況				④交差条件 緊急輸送道路		合計点
														判定区分	評価	評価点	落橋防止システム設置判定	上部工の回転	評価	評価点	道路幅員	防護柵設置状況	評価	評価点	評価	評価点	
80	29	180号線	古島橋	その他	稲嶺土改 3号線	南城市大里稲嶺	RC単純T桁橋	昭和56年3月 (1981)	35年	H28	5.62	14.70	1	II	-	0	桁かかり長満足	しない	-	-	5.02	防護柵に損傷・基準を満たしていない	△	8	△	8	16
5	30	6号線	1号函渠3	1級	新里佐敷線	南城市佐敷新里	RCボックスカルバート	S61.12.16	30年	H28	8.00	3.60 (3.00)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	7.40	防護柵の基部破断・転落防止柵未設置	×	10	-	-	10
66	31	47号線	1号函渠38	その他	江戸線	南城市大里古堅	RCボックスカルバート	S57.10.7	34年	H28	5.40	4.80 (4.00)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.00	防護柵と転落防止柵が設置されていない	×	10	-	-	10
36	32	21号線	1号函渠21	その他	志堅原～玉城線	南城市玉城志堅原	RCボックスカルバート	H6.5.11	22年	H29	5.57	2.60 (2.00)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.17	防護柵と転落防止柵が設置されていない	×	10	-	-	10
61	33	7号線	田原橋 (H25架替)	1級	田原線	南城市大里古堅	PCボックスカルバート	平成25年7月 (2013)	3年	H28	10.50	3.40 (3.00)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	8.00	転落防止柵の設置が必要	△	8	-	-	8
6	34	12号線	1号函渠4	1級	手登根伊原線	南城市佐敷伊原	RCボックスカルバート	S57.10.26	34年	H28	10.00	3.40 (2.80)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	9.20	転落防止柵の設置が必要	△	8	-	-	8
62	35	12号線	1号函渠35	2級	長増線	南城市大里古堅	RCボックスカルバート	S57.10.7	34年	H28	5.70	7.00 (6.00)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	4.50	転落防止柵の設置が必要	△	8	-	-	8
17	36	34号線	1号函渠11	その他	運座桃原線	南城市佐敷新里	RCボックスカルバート	S57.10.26	34年	H28	5.00	4.60 (4.00)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	4.50	転落防止柵の設置が必要	△	8	-	-	8
10	37	15号線	1号函渠7	1級	伊原屋比久線	南城市佐敷屋比久	PCボックスカルバート	S57.10.26	34年	H28	7.90	2.85 (2.50)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	7.00	転落防止柵の設置が必要	△	8	-	-	8
60	38	3号線	1号函渠34	1級	仲程～南風原線	南城市大里仲間	RC・PC複合ボックスカルバート	S57.10.7	34年	H28	9.78	3.48 (3.00)	1	II	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	9.28	転落防止柵の設置が必要	△	8	-	-	8
30	39	167号線	1号函渠16	その他	佐敷海岸線	南城市佐敷佐敷	RCボックスカルバート	H6.3.31	22年	H28	6.98	3.80 (3.20)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.50	転落防止柵の設置が必要	△	8	-	-	8
74	40	110号線	1号函渠42	その他	川田線	南城市大里稲嶺	RCボックスカルバート	S57.10.7	34年	H28	7.70	7.10 (6.50)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	6.50	転落防止柵の設置が必要	△	8	-	-	8
53	41	125号線	1号函渠28	その他	125号線	南城市知念知名	RCボックスカルバート	S60.3.31	31年	H28	4.80	5.20 (4.50)	1	II	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	4.00	転落防止柵の設置が必要	△	8	-	-	8
41	42	55号線	赤増橋	その他	船越～愛地線	南城市玉城船越	RC単純T桁橋	昭和57年3月 (1982)	34年	H28	6.20	9.40	1	II	-	0	桁かかり長満足	しない	-	-	5.00	転落防止柵の基準を満たしていない	△	8	-	-	8
72	43	97号線	1号函渠40	その他	見奈須～照喜線	南城市大里大里	PCボックスカルバート	S57.10.7	34年	H28	6.58	3.50 (3.00)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.00	転落防止柵の設置が必要	△	8	-	-	8
69	44	66号線	1号橋9	2級	運謝線	南城市大里稲嶺	RCボックスカルバート	H23.3.31	5年	H29	7.70	5.20	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	6.50	転落防止柵の設置が必要	△	8	-	-	8
1	45	1号線	1号函渠1	2級	馬天小谷線	南城市佐敷津波古	RCボックスカルバート	H6.3.31	22年	H28	7.00	2.40 (2.00)	1	II	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	6.60	転落防止柵の設置が必要	△	8	-	-	8
52	46	113号線	1号函渠27	その他	113号線	南城市知念知名	RCボックスカルバート	S60.3.31	31年	H28	6.60	2.60 (2.00)	1	II	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.10	転落防止柵の設置が必要	△	8	-	-	8
71	47	76号線	1号橋	その他	真境名～西原線	南城市大里大城	アーチ石積橋RCアーチ橋	S55.3.31	36年	H29	5.00	5.60	1	II	-	0	桁かかり長満足	しない	-	-	4.60	転落防止柵の設置が必要	△	8	-	-	8
67	48	58号線	1号橋7	その他	保地線	南城市大里仲間	RC単純中空床版橋	S57.10.7	34年	H28	5.20	13.70	1	II	-	0	桁かかり長満足	しない	-	-	4.00	転落防止柵の設置が必要	△	8	-	-	8
13	49	19号線	2号函渠	1級	佐敷仲伊保線	南城市佐敷富祖崎	RCボックスカルバート	H7.3.31	21年	H29	10.85	4.10 (3.50)	1	II	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	7.15	防護柵基部が損傷	△	8	-	-	8
63	50	13号線	1号函渠36	その他	伝道線	南城市大里古堅	RCボックスカルバート	H23.3.31	5年	H29	6.40	4.30 (3.76)	1	II	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.20	転落防止柵の設置が必要	△	8	-	-	8
51	51	110号線	1号函渠26	その他	110号線	南城市知念志喜屋	PCボックスカルバート	H6.3.31	22年	H29	5.45	3.40 (3.00)	1	II	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.05	転落防止柵の設置が必要	△	8	-	-	8
82	52	217号線	1号函渠	その他	嶺井土改1号線	南城市大里嶺井	RCボックスカルバート	H7.12.22	21年	H29	5.40	2.60 (2.00)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.00	転落防止柵の一部に変形	△	8	-	-	8
34	53	232号線	1号函渠19	その他	新里4号線	南城市佐敷新里	RCボックスカルバート	H14.3.31	14年	H29	5.65	4.60 (4.00)	1	II	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.15	転落防止柵の設置が必要	△	8	-	-	8
49	54	19号線	1号函渠24	1級	19号線	南城市知念吉富	RCボックスカルバート	S57.10.22	34年	H28	5.95	2.90 (2.10)	1	II	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.55	防護柵の設置が必要	△	8	-	-	8
58	55	149号線	1号函渠32	その他	149号線	南城市知念志喜屋	RCボックスカルバート(通路BOX)	S55.3.31	36年	H28	6.76	6.10 (5.10)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.80	健全であり基準を満たしている	◎	0	×	10	10
14	56	21号線	月代橋 (H27架替)	2級	佐敷月代宮線	南城市佐敷佐敷	RCボックスカルバート	平成27年4月 (2015)	1年	H28	8.40	3.94 (3.40)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.25	健全であり基準を満たしている	◎	0	△	8	8

●修繕優先度の評価基準

①5年以内の補修が必要とされる橋梁(健全度評価点Ⅲ判定の橋梁)【評価点：60点満点】			③道路構造令等への適応が必要な橋梁【評価点：10点満点】		
評価	点数	内容	評価	点数	内容
×	60点	主要部材(複数)および二次部材にⅢ判定の損傷がある	×	10点	道路幅員4m未満、防護柵が未設置または損傷等で機能していない
△	50点	主要部材(複数)にⅢ判定の損傷がある	△	8点	防護柵が現行の設置基準に満たない(高さや強度不足)
○	40点	主要部材(単体)にⅢ判定の損傷がある	④交差条件、緊急輸送路に指定されている橋梁【評価点：10点満点】		
②耐震補強の対応が必要な橋梁【評価点：20点満点】			評価	点数	内容
×	20点	耐震補強が必要(桁かかり長確保、落橋防止・横変位拘束構造の設置)	×	10点	跨道橋(第三者被害の可能性)または緊急輸送道路に架かる橋梁
			△	8点	緊急輸送道路または重要施設アクセス路を跨ぐ橋梁

凡例

	修繕優先の指標に該当する項目
	H23年以降に補修・架け替えを行い損傷度が下がった橋梁
	損傷状況を確認し、計画中に健全度をⅡよりⅢに引き上げた橋梁

中期修繕計画対象一覧(3/3)

橋梁番号	優先順位	路線番号	橋梁名 函渠名	種別	路線名	所在地	構造形式	架設年次 (西暦)	供用年数	最新点 検年次	幅員[m]	橋長[m] (内空距離)	径間数	①健全度評価			②耐震補強対応の必要性				③道路構造令等の適応判定 道路幅員4m未満・防護柵設置状況				④交差条件 緊急輸送道路		合計 点
														判定 区分	評価	評価点	落橋防止システム設置判定	上部工 の回転	評価	評価点	道路 幅員	防護柵設置状況	評価	評価点	評価	評価点	
15	57	29号線	1号函渠9	その他	田原線	南城市佐敷津波古	RCボックスカルバート	H63.31	22年	H28	5.65	2.60 (2.00)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.00	防護柵の設置を省略できる※1	◎	0	△	8	8
7	58	13号線	1号函渠5	2級	手登根富祖崎線	南城市佐敷手登根	RCボックスカルバート	S57.3.31	34年	H28	15.00	2.60 (2.00)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	14.50	防護柵の設置を省略できる※1	◎	0	△	8	8
75	59	116号線	1号函渠43	その他	山畑～保地線	南城市大里仲間	RCボックスカルバート	S57.10.7	34年	H28	6.00	4.40 (3.80)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.00	健全であり基準を満たしている	◎	0	△	8	8
23	60	70号線	1号函渠14	その他	新開13号線	南城市佐敷津波古	RCボックスカルバート	S60.3.30	31年	H28	13.40	2.40 (2.00)	1	II	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	7.00	健全であり基準を満たしている	◎	0	△	8	8
50	61	36号線	1号函渠25	2級	36号線	南城市知念山里	PCボックスカルバート	H11.3.31	17年	H29	8.05	2.90 (2.50)	1	II	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.55	健全であり基準を満たしている	◎	0	△	8	8
31	62	185号線	1号橋6	その他	津波古35号線	南城市佐敷津波古	RCボックスカルバート	平成25年5月 (2013)	3年	H28	12.00	2.40 (2.00)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	12.00	防護柵の設置箇所なし	◎	0	-	-	0
32	63	185号線	1号函渠17	その他	津波古35号線	南城市佐敷津波古	PCボックスカルバート	S62.3.31	29年	H28	13.00	2.40 (2.00)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	13.00	防護柵の設置箇所なし	◎	0	-	-	0
37	64	21号線	2号函渠2	その他	志堅原～玉城線	南城市玉城中山	RCボックスカルバート	H65.11	22年	H28	5.57	2.60	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.17	防護柵の設置を省略できる※1	◎	0	-	-	0
54	65	129号線	1号函渠29	その他	129号線	南城市知念久手堅	RCボックスカルバート	S61.3.31	30年	H28	5.60	2.60 (2.00)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.00	防護柵の設置を省略できる※1	◎	0	-	-	0
55	66	130号線	1号函渠30	その他	130号線	南城市知念知念	RCボックスカルバート	S61.3.31	30年	H28	14.40	2.60 (2.00)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	14.40	防護柵の設置を省略できる※1	◎	0	-	-	0
33	67	228号線	1号函渠18	その他	仲伊保富祖崎線	南城市佐敷仲伊保	PCボックスカルバート	H18.3.31	10年	H28	13.00	2.44 (2.00)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	7.00	健全であり基準を満たしている	◎	0	-	-	0
39	68	51号線	1号函渠22	その他	船越～下川田線	南城市玉城船越	RCボックスカルバート	S57.10.22	34年	H28	6.40	3.10 (2.60)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.20	健全であり基準を満たしている	◎	0	-	-	0
35	69	18号線	1号函渠20	2級	中山～新原線	南城市玉城中山	RCボックスカルバート	S57.10.22	34年	H28	5.50	2.50 (2.00)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.10	防護柵の設置を省略できる※1	◎	0	-	-	0
3	70	1号線	3号函渠	2級	馬天小谷線	南城市佐敷津波古	PCボックスカルバート	H63.31	22年	H28	6.25	2.50 (2.20)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.75	防護柵の設置を省略できる※1	◎	0	-	-	0
20	71	40号線	1号函渠13	その他	小谷前原線	南城市佐敷小谷	PCボックスカルバート	S57.10.26	34年	H28	6.45	2.50 (2.20)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.95	防護柵の設置を省略できる※1	◎	0	-	-	0
28	72	151号線	1号函渠15	その他	仲伊保一花線	南城市佐敷仲伊保	RCボックスカルバート	S60.3.30	31年	H28	4.60	2.60 (2.00)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	4.00	防護柵の設置を省略できる※1	◎	0	-	-	0
40	73	54号線	1号函渠23	その他	下川田原～石川原線	南城市玉城船越	RCボックスカルバート	H65.11	22年	H28	5.60	3.35 (2.75)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.00	健全であり基準を満たしている	◎	0	-	-	0
73	74	98号線	1号函渠41	その他	江原～山畑線	南城市大里大里	RCボックスカルバート	S57.10.7	34年	H28	6.25	4.70 (4.10)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.05	健全であり基準を満たしている	◎	0	-	-	0
2	75	1号線	2号函渠1	2級	馬天小谷線	南城市佐敷津波古	RCボックスカルバート	H63.31	22年	H28	5.50	2.60 (2.00)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.10	防護柵の設置を省略できる※1	◎	0	-	-	0
19	76	37号線	1号函渠12	2級	落水線	南城市佐敷伊原	PCボックスカルバート	S57.10.26	34年	H28	8.00	2.86 (2.50)	1	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	7.20	健全であり基準を満たしている	◎	0	-	-	0
11	77	19号線	1号函渠8	1級	佐敷仲伊保線	南城市佐敷佐敷	RCボックスカルバート	H7.3.31	21年	H28	10.60	6.10 (5.50)	1	II	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	7.00	健全であり基準を満たしている	◎	0	-	-	0
57	78	131号線	1号函渠31	その他	131号線	南城市知念吉富	RCボックスカルバート	S61.3.31	30年	H28	7.00	2.60 (2.00)	1	II	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	6.40	防護柵の設置を省略できる※1	◎	0	-	-	0
56	79	130号線	2号函渠3	その他	130号線	南城市知念知念	RCボックスカルバート	S61.3.31	30年	H28	6.20	2.60 (2.00)	1	II	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	5.60	防護柵の設置を省略できる※1	◎	0	-	-	0
59	80	157号線	1号函渠33	その他	157号線	南城市知念知念	PCボックスカルバート	H11.3.31	17年	H29	20.43	3.40 (3.00)	1	II	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	20.43	防護柵の設置を省略できる※1	◎	0	-	-	0
4	81	3号線	1号函渠2	2級	馬天浜端線	南城市佐敷津波古	RCボックスカルバート	S57.10.26	34年	H28	6.90	2.40 (2.00)	1	II	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	6.50	健全であり基準を満たしている	◎	0	-	-	0
68	82	59号線	1号橋8	その他	仲志線	南城市大里仲間	RC単純中空床版橋	S57.10.7	34年	H28	5.20	13.00	1	II	-	0	桁かかり長満足	不可	-	-	4.00	健全であり基準を満たしている	◎	0	-	-	0
22	83	56号線	新開橋 (H30架替)	2級	新開中央線	南城市佐敷津波古	RCボックスカルバート	H30	0年		19.70	7.95 (3.50@2)	2	I	-	0	落橋防止不要函渠(ラーメン構造)	-	-	-	13.00	健全であり基準を満たしている	◎	0	-	-	0

●修繕優先度の評価基準

①5年以内の補修が必要とされる橋梁(健全度評価点Ⅲ判定の橋梁)【評価点：60点満点】			③道路構造令等への適応が必要な橋梁【評価点：10点満点】		
評価	点数	内容	評価	点数	内容
×	60点	主要部材(複数)および二次部材にⅢ判定の損傷がある	×	10点	道路幅員4m未満、防護柵が未設置または損傷等で機能していない
△	50点	主要部材(複数)にⅢ判定の損傷がある	△	8点	防護柵が現行の設置基準に満たない(高さや強度不足)
○	40点	主要部材(単体)にⅢ判定の損傷がある	④交差条件、緊急輸送路に指定されている橋梁【評価点：10点満点】		
評価	点数	内容	評価	点数	内容
②耐震補強の対応が必要な橋梁【評価点：20点満点】			×	10点	跨道橋(第三者被害の可能性)または緊急輸送道路に架かる橋梁
×	20点	耐震補強が必要(桁かかり長確保、落橋防止・横変位拘束構造の設置)	△	8点	緊急輸送道路または重要施設アクセス路を跨ぐ橋梁

凡例

	修繕優先の指標に該当する項目
	H23年以降に補修・架け替えを行い損傷度が下がった橋梁
	損傷状況を確認し、計画中に健全度をⅡよりⅢに引き上げた橋梁

※1 路側高さ2m未満かつ水深1.5mの条件より設置を省略できる。